

潮見橋地区福祉だより

—みんな大好き！ しおみばし—

発行 潮見橋地区社会福祉協議会

・・・就任のあいさつ・・・



潮見橋地区社会福祉協議会

会長 岡田 和雄 氏



この度、潮見橋地区社会福祉協議会会長を引き継ぐこととなりました。令和3、4年の2年間は皆様のご協力により当番町会の役割を無事に努めることができましたことを心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による規制も緩和され、これまで中止を余儀なくされていた行事が再開されるようになってまいりました。毎年開催していた時とは異なる苦労をスタッフの皆様におかけすることになると思われまます。また、行事内容の変更を余儀なくされることも想定されます。そのような状況において、地区社協の会長に就任いたしました。皆さんに喜んでいただける行事を開催できますよう、事務局の方々と一緒に、微力ではございますが努めて参る所存でございますので、会員の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。今後2年間、潮見橋地区社会福祉協議会の会長として地域福祉の推進に貢献できるよう努めてまいりますので、事務局の方々および会員の皆様のご協力をお願いいたします。

潮見橋地区連合会

会長 本田 健二 氏



令和5年4月に会長になり、2ヶ月後に潮田神社例大祭が4年ぶりに開催される事になりました。6月3日・4日と祭礼日が決まったのですが、会長になって初めての大役を務められるかと心配になりました。特に4日の日曜日の本町パレードは是非とも成功させたいと思いました。3日土曜日は、朝から雨が降り明日は中止かなと思いながら祭りの準備をしていたのですが、午後には、幸いにも雨が止み心配ごとが安心に変わりました。4日本町パレードを迎え次第に緊張が走り胸の高ぶりを感じました。ここで落ち着かないと自分に言い聞かせ、自分には支えてくれる仲間がいることを思い出し、潮見橋連合は、7町会が助け合いながら乗り越えてきた実績があることに気づき、失敗を恐れずに前に進め、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

今後とも皆様の御支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

潮見橋地区社会福祉協議会は、皆様からお預かりした賛助会費の還元金を地域の様々な福祉事業に有効利用させていただいております。(令和4年度：還元金¥464,000)今年度もよろしくお願いいたします。



潮田神社例大祭 本町パレード

令和5年6月4日(日)



式典は来賓の挨拶後、潮田中学校のマーチングバンドを先頭にお囃子や山車に続き浴衣姿の女性による民謡踊り、祭りの最後を飾る各町会自慢の神輿、子供神輿8基、大人神輿13基による神輿渡御が始まり、沿道から盛大な拍手や応援を受け潮田交流プラザまで行進しました。コロナの影響により、4年間にわたり行事の自粛ムードの中、今年はイベントが開催できました。今回の祭礼行事が成功したのか、それとも失敗したのかわかりませんが、潮見橋地区連合各会長、そして各連合スタッフの方々のお陰で無事に終了したことに感謝。本当にありがとうございました。(潮見橋地区連合会長 本田 健二 氏)



本町通三丁目・下野谷町三丁目
宮出・宮入に参加しました！

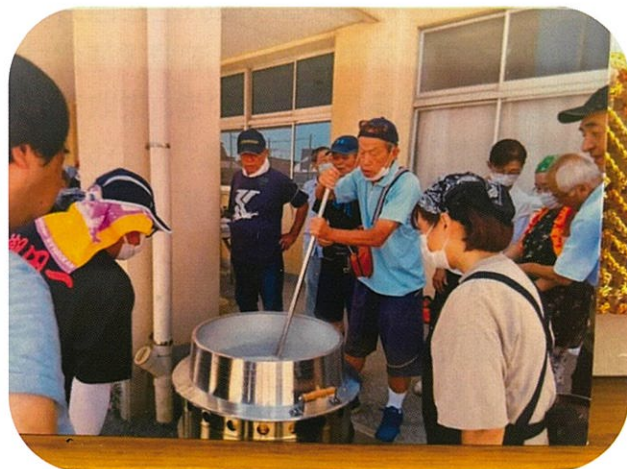
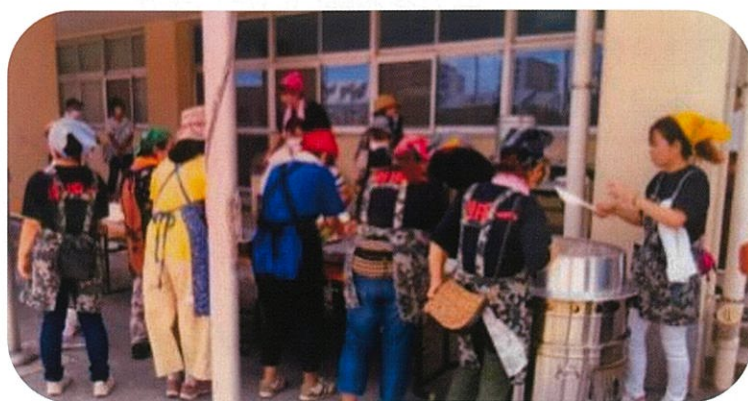


防災訓練

令和5年9月3日(日)下野谷小学校にて

炊き出し訓練を

おこないました！



— ボッチャ競技講習会 —

令和5年7月30日(日) 9:30~11:00 下野谷小学校体育館にて

参加者: 30名



7月23日(日)朝9時30分より下野谷小学校体育館におきましてボッチャ競技講習会を開催しました。ボッチャが初めての方がほとんどでしたので、はじめにルール説明をして開始しました。最初は静かな状態で競技が進行していましたが、だんだんと楽しさを感じたのか、あちこちで笑い声や夢中になる声が響き渡りました。

あっという間の1時間半でしたが、皆様と楽しい時間を過ごすことができました。

潮見橋地区スポーツ推進委員代表
浦上 恵路 氏

— 潮見橋地区社会を明るくする運動 講話会 —

講師：横浜市立下野谷小学校 校長 栗田 高広 氏

令和5年7月30日(日) 11:00～ 横浜市立下野谷小学校図書室にて

令和5年7月2日(日)鶴見公会堂において「第73回鶴見区社会を明るくする運動」が鶴見区長をはじめ多くの皆様のご出席の下に開催され、潮見橋地区においても7月23日(日)午前11時から下野谷小学校図書室に於いて、潮見橋地区社会福祉協議会のご協力を頂き「社会を明るくする運動」を開催いたしました。

当日は55名が参加し、潮見橋地区連合会本田会長から「地域における繋がり大切さ」との挨拶を頂き、地区社協仁科事務局長から「小学校を地域として支えよう」との挨拶から始まりました。

今年度の社会を明るくする運動は下野谷小学校栗田校長先生をお招きし「安心できる学校をめざして」をテーマに講話をいただきました。このテーマは、今年度の下野谷小学校学校目標でもある「自分が好き・この街が好き」にも関係してるとのこと。

学援隊やおひさま先生など地域の方々からの支えは、人と人との繋がり大切さを感じるという言葉が多くの児童から出ているとお話もあり、また、近年多く見られる不登校児童との接し方の中でも、「まずは自分自身で考えることから始める大切さ」について話をし、それが「自分で決めること、自己決定の大切さ」に続き、最終的にありのままの自分「自分が好き」から「友達が好き」につながり、「明日も学校に行きたい」という気持ちが出来るとの話も伺えた。

栗田校長先生の講話は決して子どもたちに限らず大人にも同じことがいえると感じた。何事にもまずは自分で考え、自己決定することが大切であり、自分を好きになれないと友達も好きになることができず、人と人との繋がりも細く短いものになってしまうのでは・・・

最後に、引き続き社会を明るくする運動へのご理解とご協力をはじめ、地域の繋がり大切さを改めてお考えいただければ幸いです。



(潮見橋地区保護司 岩本章氏)

更生保護のマスコットキャラクター
更生保護のホゴちゃんとサウちゃん



編集委員<広報活動部会>

部会長：金井 治 部員：橋本 辰四郎、中島 信之、中村 美奈子、瀬下 弘和、長谷川 妙子、荻岐村 高峰、小原 真由美